
令和 7 年度 湯沢市 市民満足度調査
報告書（分析）

令和 7 年 7 月
湯沢市

市民満足度調査報告書（分析）

1. 施策別の総合評価	1
1-1 施策別の満足度順位	1
1-2 施策別の重要度順位	2
1-3 満足度・不満足度の推移	3
1-4 満足度・重要度の加重平均	4
1-5 満足度・重要度の加重平均によるCS分析	5
（参考）調査票と報告書の項目名称の対応	8
2. 年代、地域別による評価	9
2-1 ライフステージ別	9
ライフステージ① 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯	10
ライフステージ② 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯	12
ライフステージ⑤ 60 歳以上 夫婦のみ世帯	14
ライフステージ⑥ 60 歳以上 多世代世帯	16
2-2 性別・年代・地域別の満足度順位	18
2-3 性別・年代・地域別の重要度順位	19
3. 設問間の相関関係	20
3-1 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係	21
3-2 問9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係	22
3-3 問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係	23
3-4 施策7「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」との相関関係	24
3-5 施策17「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」との相関関係	25
3-6 施策18「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係	26
3-7 施策29「公共交通の整備と利用促進」との相関関係	27
3-8 施策30「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係	28
3-9 施策31「雪国の安心な暮らし対策の充実」との相関関係	29
4. 自由意見	30

1. 施策別の総合評価

(1-1) 施策別の満足度順位

➤ 「満足」「やや満足」の合計は、「心身の健康を保つ活動の充実」が最も高く、次いで「社会インフラの充実」「充実した長寿生活の実現」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	満足度	前回値	差分
					満足 やや満足 どちらともいえない やや不満 不満 無回答		
1	→	1	9	心身の健康を保つ活動の充実	47.3	43.5	3.8
2	↑	6	32	社会インフラの充実	42.0	35.6	6.4
3	↑	7	10	充実した長寿生活の実現	40.5	34.6	5.9
4	↑	9	15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	39.9	34.3	5.6
5	↓	3	27	安心な生活環境の構築	39.7	39.7	0.0
6	↓	2	31	雪国の安心な暮らし対策の充実	39.1	40.3	-1.2
6	↓	5	11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	39.1	35.9	3.2
8	→	8	25	防災危機対策の推進	37.1	34.4	2.7
9	↑	15	5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	35.4	26.7	8.7
10	→	10	8	保育・幼児教育の充実と放課後児童の健全育成	34.4	34.0	0.4
11	↑	12	22	生涯学習の推進	34.2	32.8	1.4
12	↑	13	21	学校教育の充実	34.0	30.3	3.7
13	↑	23	6	生活に困難を抱える方や障がい者等の自立支援	32.6	23.4	9.2
14	↓	4	4	情報発信力の強化	30.2	39.5	-9.3
15	↑	19	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	28.7	24.4	4.3
15	↑	22	7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	28.7	24.2	4.5
17	→	17	26	優れた自然環境の保全	27.9	25.9	2.0
18	↑	20	23	スポーツ活動の推進	27.7	24.3	3.4
19	↓	11	30	まちの動脈となる道路等の整備	27.3	33.5	-6.2
20	↓	16	20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	26.5	26.5	0.0
21	↓	14	24	文化の保護・継承・活用	26.1	27.1	-1.0
22	↑	23	29	公共交通の整備と利用促進	26.0	23.4	2.6
23	↓	18	16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	25.9	25.0	0.9
24	↑	26	13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	25.0	23.0	2.0
25	↑	29	28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	24.8	20.3	4.5
26	↓	25	1	市民が主役のまちづくりの推進	23.4	23.2	0.2
27	↑	32	19	農山村交流及び国際交流の活性化	21.7	18.8	2.9
28	→	28	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	21.3	20.4	0.9
29	↑	31	18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	20.9	19.0	1.9
30	↓	20	12	産業を支える土台作り	20.5	24.3	-3.8
30	→	30	17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成	20.5	19.9	0.6
32	↓	27	14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	19.9	22.8	-2.9

0% 25% 50% 75% 100%

(1-2) 施策別の重要度順位

➤ 「重要」「やや重要」の合計は、「道路等除雪排雪体制の充実」が最も高く、次いで「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」「防災危機対策の推進」となっている。

順位	前回比較	前回順位	施策No.	施策名	重要度	前回値	差分
					重要 やや重要 どちらともいえない あまり重要でない 重要でない 無回答		
1	→	1	31	雪国の安心な暮らし対策の充実		89.7	86.3 3.4
2	→	2	11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減		81.1	78.7 2.4
3	↑	6	25	防災危機対策の推進		80.2	74.7 5.5
4	↑	7	9	心身の健康を保つ活動の充実		76.0	72.7 3.3
5	↑	9	32	社会インフラの充実		75.5	72.3 3.2
6	↑	10	15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出		73.7	71.5 2.2
7	↓	4	27	安心な生活環境の構築		72.7	75.6 -2.9
8	↓	7	10	充実した長寿生活の実現		72.6	72.7 -0.1
9	↓	5	29	公共交通の整備と利用促進		70.9	75.4 -4.5
10	↑	12	21	学校教育の充実		70.4	71.2 -0.8
11	↑	19	6	生活に困難を抱える方や障がい者等の自立支援		69.9	62.2 7.7
12	↑	14	7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実		69.5	70.0 -0.5
13	↓	10	8	保育・幼児教育の充実と放課後児童の健全育成		68.7	71.5 -2.8
14	↓	3	30	まちの動脈となる道路等の整備		68.6	76.7 -8.1
15	↓	13	17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成		68.2	71.1 -2.9
15	→	15	18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援		68.2	68.5 -0.3
17	↓	16	16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化		64.5	67.3 -2.8
18	↑	22	28	計画的な土地利用と市街地整備の推進		59.6	59.8 -0.2
19	↓	18	26	優れた自然環境の保全		59.4	64.2 -4.8
20	→	20	14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上		58.4	61.3 -2.9
21	↑	29	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進		57.8	53.4 4.4
21	→	21	13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進		57.8	61.1 -3.3
23	↑	25	22	生涯学習の推進		57.2	55.9 1.3
24	↓	23	12	産業を支える土台作り		57.1	59.4 -2.3
25	↓	17	4	情報発信力の強化		56.7	65.8 -9.1
26	↓	24	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進		56.2	57.1 -0.9
27	↓	26	1	市民が主役のまちづくりの推進		56.1	55.5 0.6
28	↑	30	5	行政サービスのデジタル化・DXの推進		55.5	51.8 3.7
29	↓	28	23	スポーツ活動の推進		54.9	54.2 0.7
30	↓	27	24	文化の保護・継承・活用		51.3	55.1 -3.8
31	→	31	20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援		44.9	47.2 -2.3
32	→	32	19	農山村交流及び国際交流の活性化		42.0	43.3 -1.3

0% 25% 50% 75% 100%

(1-3) 満足度・不満足度の推移

① 満足度が上昇・不満足度が解消した施策

- ▶ 前年より満足度が上昇した施策は「生活に困難を抱える方や障がい者等の自立支援」で9.2ポイント、「行政サービスのデジタル化・DXの推進」で8.7ポイント、「社会インフラの充実」で6.4ポイントの増加となっている。
- ▶ 不満足度が解消された施策は「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」で11.1ポイント、「経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上」で8.3ポイント、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」で8.2ポイント減少している。

満足度が上昇した施策（上位3施策）

施策 NO.	施策名	令和6年			令和7年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
6	生活に困難を抱える方や障がい者等の自立支援	6.4	17.0	23.4	7.8	24.8	32.6	9.2
5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	5.2	21.5	26.7	8.6	26.8	35.4	8.7
32	社会インフラの充実	11.0	24.6	35.6	11.3	30.7	42.0	6.4

不満足度が解消した施策（上位3施策）

施策 NO.	施策名	令和6年			令和7年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	18.0	9.3	27.3	10.5	5.7	16.2	▲ 11.1
14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	16.6	7.5	24.1	10.9	4.9	15.8	▲ 8.3
18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	17.4	11.4	28.8	14.5	6.1	20.6	▲ 8.2

② 満足度が低下・不満足度が悪化した施策

- ▶ 前年より満足度が低下した施策は「情報発信力の強化」で9.3ポイント、「まちの動脈となる道路等の整備」で6.2ポイント、「産業を支える土台作り」で3.8ポイントの減少となっている。
- ▶ 不満足度が悪化した施策は「計画的な土地利用と市街地整備の推進」で2.5ポイント、「防災危機対策の推進」で0.4ポイント増加している。

満足度が低下した施策（上位3施策）

施策 NO.	施策名	令和6年			令和7年			増減
		満足	やや満足	満足計	満足	やや満足	満足計	
4	情報発信力の強化	6.8	32.7	39.5	6.8	23.4	30.2	▲ 9.3
30	まちの動脈となる道路等の整備	8.9	24.6	33.5	7.0	20.3	27.3	▲ 6.2
12	産業を支える土台作り	4.8	19.5	24.3	4.3	16.2	20.5	▲ 3.8

不満足度が悪化した施策（上位2施策） ※2施策以外は不満足解消方向に推移している

施策 NO.	施策名	令和6年			令和7年			増減
		やや不満	不満	不満計	やや不満	不満	不満計	
28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	12.0	7.7	19.7	15.8	6.4	22.2	2.5
25	防災危機対策の推進	10.1	3.5	13.6	10.5	3.5	14.0	0.4

(1-4) 満足度・重要度の加重平均

各施策（32 項目）の満足度と重要度について、加重平均による数値化を行います。満足・重要に 2、やや満足・やや重要に 1、どちらともいえないに 0、やや不満・あまり重要でないに -1、不満・重要でないに -2 を乗じて、回答者数で除して数値化しています。数値が大きいほど満足度と重要度が高いといえます。

<算出例> ※心身の健康を保つ活動の充実

満足度	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	総回答
回答者数	65	166	200	34	17	6	488
加重値	2	1	0	-1	-2	—	—

計算式： $(65 \times 2 + 166 \times 1 + 200 \times 0 + 34 \times (-1) + 17 \times (-2)) \div 488 \div 0.47$

【満足度】



満足度平均スコア：0.17

【重要度】

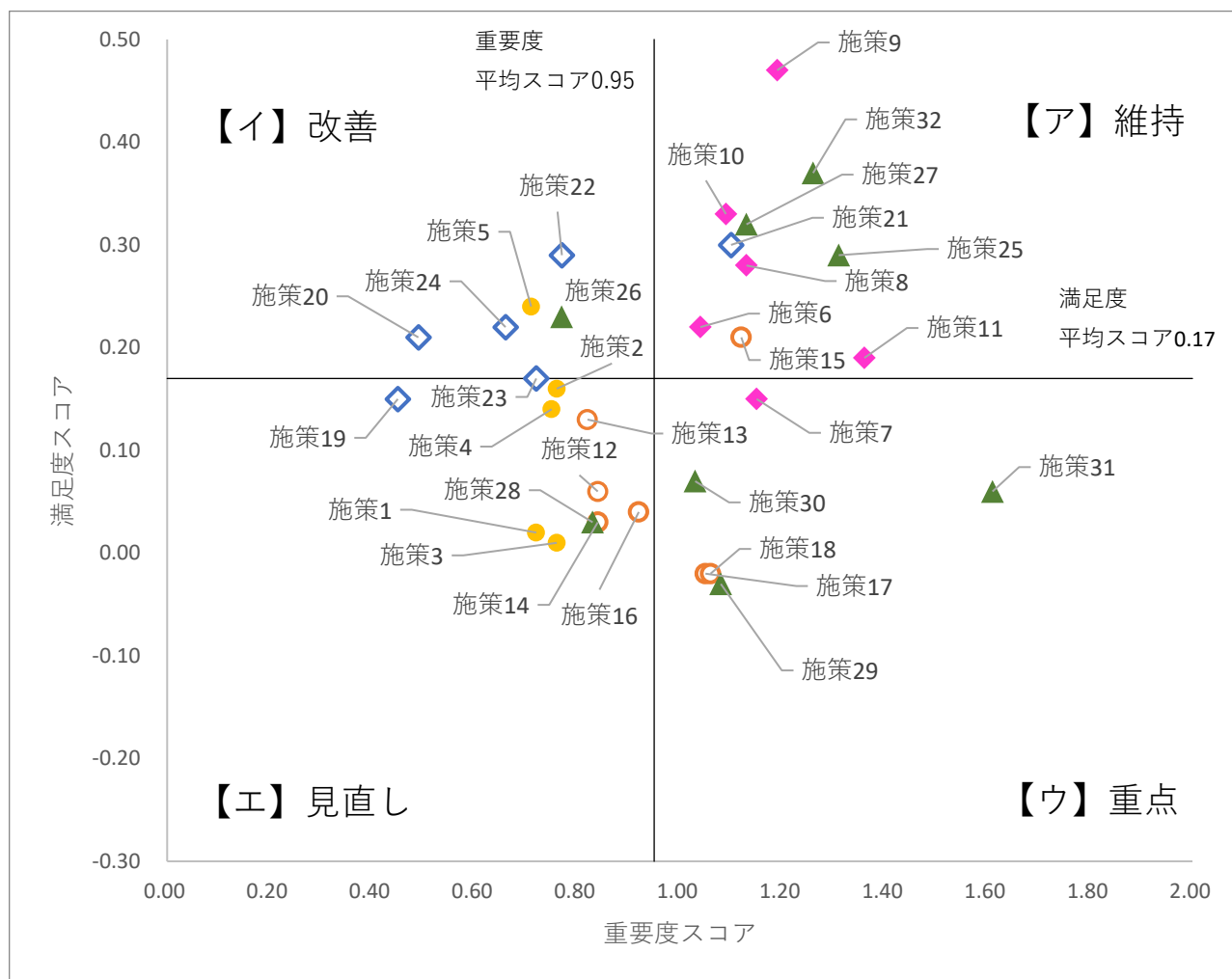


重要度平均スコア：0.95

（１－５）満足度・重要度の加重平均によるCS分析

各施策について算出した加重平均値を用い、満足度のスコアを縦軸に、重要度のスコアを横軸として散布図グラフを作成しCS（顧客満足度）分析を行います。

各平均スコアを境に【ア】【イ】【ウ】【エ】のエリアにプロットされた施策の位置から今後の方向性を検討します。



満足度と重要度による今後の方向性

	●	◆	○	◇	▲	合計
【ア】満足度高・重要度高（維持）		5	1	1	3	10
【イ】満足度高・重要度低（改善）	1			4	1	6
【ウ】満足度低・重要度高（重点）		1	2		3	6
【エ】満足度低・重要度低（見直し）	4		4	1	1	10
合計	5	6	7	6	8	32

【ア】満足度高・重要度高（維持）

⇒ この水準を維持しながら、より効率的な事務執行が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	6	生活に困難を抱える方や障がい者等の自立支援	0.22	1.04
◆	8	保育・幼児教育の充実と放課後児童の健全育成	0.28	1.13
◆	9	心身の健康を保つ活動の充実	0.47	1.19
◆	10	充実した長寿生活の実現	0.33	1.09
◆	11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	0.19	1.36
○	15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	0.21	1.12
◇	21	学校教育の充実	0.30	1.10
▲	25	防災危機対策の推進	0.29	1.31
▲	27	安心な生活環境の構築	0.32	1.13
▲	32	社会インフラの充実	0.37	1.26

【イ】満足度高・重要度低（改善）

⇒ 費用対効果の見直しなど、事務事業の改善が必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
●	5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	0.24	0.71
◇	20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	0.21	0.49
◇	22	生涯学習の推進	0.29	0.77
◇	23	スポーツ活動の推進	0.17	0.72
◇	24	文化の保護・継承・活用	0.22	0.66
▲	26	優れた自然環境の保全	0.23	0.77

● 市民活動・情報発信

◆ 子育て・福祉・健康

○ 産業・観光・雇用

◇ 文化・教育・スポーツ

▲ 防災・生活

【ウ】満足度低・重要度高（重点）

⇒ 満足度を高めるため、重点的な取り組みが必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
◆	7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	0.15	1.15
○	17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成	-0.02	1.05
○	18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	-0.02	1.06
▲	29	公共交通の整備と利用促進	-0.03	1.08
▲	30	まちの動脈となる道路等の整備	0.07	1.03
▲	31	雪国の安心な暮らし対策の充実	0.06	1.61

【工】満足度低・重要度低（見直し）

⇒ 予算や内容等、事務事業の抜本的な見直しが必要である。

分類	施策NO.	施策名	満足度 スコア	重要度 スコア
●	1	市民が主役のまちづくりの推進	0.02	0.72
●	2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	0.16	0.76
●	3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	0.01	0.76
●	4	情報発信力の強化	0.14	0.75
○	12	産業を支える土台作り	0.06	0.84
○	13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	0.13	0.82
○	14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	0.03	0.84
○	16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	0.04	0.92
◇	19	農山村交流及び国際交流の活性化	0.15	0.45
▲	28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	-0.01	0.87

● 市民活動・情報発信

◆ 子育て・福祉・健康

○ 産業・観光・雇用

◇ 文化・教育・スポーツ

▲ 防災・生活

(参考) 調査票と報告書の項目名称の対応

	分野	施策 No.	施策名	設問項目
1 章	● 市民活動・ 情報発信	1	市民が主役のまちづくりの推進	地域の方々が主体的に取り組むまちづくり活動への支援やまちづくりの中心となる人材の育成など、「市民が主役のまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		2	年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進	若者等が企画するイベントの支援や、女性の社会参画機会の確保など、「年齢や性別に関わらず、誰もが活躍できるまちづくりの推進」に取り組んでいます。
		3	ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進	ふるさと納税の推進や、ふるさと応援大使の委嘱、移住の働きかけや定住支援を行うなど、「ゆざわを応援してくれる力の発掘と移住定住促進」に取り組んでいます。
		4	情報発信力の強化	広報紙など様々な手段を活用して、市の情報や魅力を発信しているほか、市民ボランティアによるSNS配信チームを結成し、市内の魅力をPRするなど、「情報発信力の強化」に取り組んでいます。
		5	行政サービスのデジタル化・DXの推進	オンライン市民相談システムや窓口キャッシュレス決済の導入など、デジタル技術の活用により行政サービスの向上及び効率化を図る「行政サービスのデジタル化・DXの推進」に取り組んでいます。
2 章	◆ 子育て・ 福祉・ 健康	6	生活に困難を抱える方や障がい者等の自立支援	生活困窮者に対する自立・就労支援や、障がい者の社会参加・就業機会の確保など、「生活困窮者と障がい者の自立支援」に取り組んでいます。
		7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実	結婚を希望する方への出会いのきっかけづくりのほか、子育て相談の充実や会員制の子ども一時預かりなど、「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」に取り組んでいます。
		8	保育・幼児教育の充実と放課後児童の健全育成	保育所・認定子ども園の延長保育等の費用補助や、放課後児童クラブの運営など、「保育所・幼稚園等の充実と放課後児童の健全育成」に取り組んでいます。
		9	心身の健康を保つ活動の充実	健診の実施や人間ドック等の費用助成のほか、自殺予防対策の促進など、「心身の健康を保つ活動の充実」に取り組んでいます。
		10	充実した長寿生活の実現	高齢者の社会参加と生きがい・健康づくりの推進のほか、福祉除雪サービス・雪下ろし費用の助成等の在宅生活の支援など、「充実した長寿生活の実現」に取り組んでいます。
		11	地域医療体制の確立と経済的負担軽減	皆瀬診療所の運営や雄勝中央病院の医師確保対策のほか、高額療養費制度等の医療保険制度の健全な運営など、「地域医療体制の確立と経済的負担軽減」に取り組んでいます。
3 章	○ 産業・ 観光・ 雇用	12	産業を支える土台作り	農地の整備事業や農道等の改良工事を行うほか、コロナ禍に対応した各産業に対する事業継続の支援など、「産業を支える土台づくり」に取り組んでいます。
		13	付加価値と競争力の高いものづくりの推進	農作物等のブランド化や地域産材（木材）の活用促進企業の販路拡大支援など、「付加価値と競争力の高いものづくりの推進」に取り組んでいます。
		14	経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上	高品質で収益性の高い農作物の安定供給体制を支援するほか、中小企業の支援や地域特産物の販路拡大など、『経営戦略の強化による「稼ぐ力・売る力」の向上』に取り組んでいます。
		15	湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出	県外での観光キャンペーンや七夕まつり・犬っこまつり等イベント開催への支援のほか、商店街活性化に関する補助金の交付など、「湯沢市への呼び込みとにぎわいの創出」に取り組んでいます。
		16	観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化	観光施設の維持管理のほか、観光物産団体の組織体制を確立するための支援など、「観光客の受入環境の整備・充実と観光推進体制の強化」に取り組んでいます。
		17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成	農林業の担い手や地場産業の後継者を確保・育成するため、技術取得等の支援のほか、首都圏から湯沢市に移り住む方を地域おこし協力隊として委嘱するなど、「全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成」に取り組んでいます。
		18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援	企業誘致の促進や雇用のミスマッチ解消を図るとともに、市内における起業・創業の支援など、「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」に取り組んでいます。
4 章	◇ 文化・ 教育・ スポーツ	19	農山村交流及び国際交流の活性化	様々な地域や団体との交流を通じて地域の魅力を感じてもらうとともに、地域への愛着心を育むため、都市農村交流や友好都市等との国際交流を行うなど、「農山村交流及び国際交流の活性化」に取り組んでいます。
		20	ジオパークの普及促進と調査・研究の支援	ジオパークの普及・啓発活動やジオパークを対象とした学術調査・研究活動を支援するなど、「ジオパークの普及促進と調査・研究の支援」に取り組んでいます。
		21	学校教育の充実	学習環境の整備や基礎的学習の充実のほか、ふるさと教育・キャリア教育等を推進するなど、「学校教育の充実」に取り組んでいます。
		22	生涯学習の推進	出前講座や生涯学習人材バンク講師による学習活動等を行うほか、音楽をはじめとした芸術文化活動を推進するなど、「生涯学習の推進」に取り組んでいます。
		23	スポーツ活動の推進	学校体育施設の無料開放やスポーツ大会等の開催のほか、スポーツ関係団体を支援するなど、「スポーツ活動の推進」に取り組んでいます。
		24	文化の保護・継承・活用	風土に育まれた歴史や文化を次の世代へとつないでいくため、文化財の保護・活用を推進するなど、「文化の保護・継承・活用」に取り組んでいます。
5 章	▲ 防災・ 生活	25	防災危機対策の推進	消防施設等の整備と消防団の体制強化を図るほか、災害に備える対策を行うなど、「防災危機対策の推進」に取り組んでいます。
		26	優れた自然環境の保全	マツ枯れ・ナラ枯れの被害拡大を防ぐ対策や地球温暖化対策の推進など、「優れた自然環境の保全」に取り組んでいます。
		27	安心な生活環境の構築	地熱をはじめとした再生可能エネルギーの活用推進のほか、住環境を快適にするため、ごみ処理や交通安全・防犯対策など、「安心な生活環境の構築」に取り組んでいます。
		28	計画的な土地利用と市街地整備の推進	都市計画道路の見直しや市営住宅の管理など、「計画的な土地利用と市街地整備の推進」に取り組んでいます。
		29	公共交通の整備と利用促進	高齢者等の移動手段を確保するため、路線バスの運行補助や乗合タクシーの運行など、「公共交通の整備と利用促進」に取り組んでいます。
		30	まちの動脈となる道路等の整備	安全・安心で快適な通行を確保するため、道路や橋の整備など、「まちの動脈となる道路等の整備」に取り組んでいます。
		31	雪国の安心な暮らし対策の充実	冬期間の交通や生活の安全を確保するため、除排雪の実施など、「道路等除排雪体制の充実」に取り組んでいます。
		32	社会インフラの充実	公共施設の長寿命化や統廃合などの推進のほか、安全な水の供給と下水道等整備による公衆衛生の向上、情報基盤の整備など、「社会インフラの充実」に取り組んでいます。

２．年代、地域別による評価

（２－１）ライフステージ別

■ライフステージ分類の考え方

市政に対する市民の関心や現状の生活に対する満足度・重要度の度合いは、その市民の置かれているライフステージ（年代、家族形態、同居家族の有無などによって定義される人生の段階）によって異なります。ライフステージによって異なる市民の満足度・重要度の傾向を明らかにすることにより、各ライフステージの市民を対象とした施策を考える際の参考情報とします。本分析では、「年代」、「家族構成」、「子どもの有無」の三つの属性に関する回答で、市民を次ページの七つのライフステージに分類しました。このうち、「①10～50 歳代・15才未満の子どもがいない世帯」、「②10～50 歳代・15歳未満の子どもがいる世帯」、「⑤60 歳以上・夫婦のみ世帯」、「⑥60 歳以上・多世代世帯」の4つの分類において、該当する市民とそれ以外の市民の満足度・重要度の回答傾向の違いを、統計的検定（t 検定）を用いて明らかにしました。なお、「③10～40 歳代・その他」、「④60 歳以上・単身世帯」、及び「⑦60 歳以上・その他」については、対象サンプルが少なく特徴が捉えにくいとため、統計的検定を行わず、以降のページに結果を記載していません。

ライフステージごとの各施策に対する満足度及び重要度は次ページ以降に示した通りであり、印をつけた箇所は、他のライフステージに比べて、統計的に有意（※注）に高い又は低い水準となっています。なお、文中の「高い」「低い」という文言は、他のライフステージと比較した際に、相対的に「高い」又は「低い」ことを表しています。

（※注）60 歳以上は、独居老人や夫婦のみ世帯など、小規模世帯の傾向を把握するため、ライフステージ④及び⑤を設置。

		家族構成			
		単身世帯	夫婦のみ世帯	2～3 世代	その他
年代	10歳代	ライフステージ① (子ども無し)		ライフステージ② (子ども有り)	ライフ ステージ ③
	20歳代				
	30歳代				
	40歳代				
	50歳代				
	60歳代	ライフステージ④	ライフステージ⑤	ライフステージ⑥	ライフステージ⑦
	70歳以上				

■標本規模

ライフステージ	分類			回答数	割合 (%)
	【問 2】年齢	【問 5】家族構成	【問 6】子どもの有無		
①10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯	10～50 歳代	単身世帯、夫婦のみ世帯、多世代世帯	—	202	42.2
②10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯	10～50 歳代	多世代世帯、その他	15歳未満の子どもがいる	73	15.2
③10～50 歳代 その他	10～50 歳代	上記①～②以外		12	2.5
④60 歳以上 単身世帯	60歳代、70 歳以上	単身世帯	—	34	7.1
⑤60 歳以上 夫婦のみ世帯	60歳代、70 歳以上	夫婦のみ世帯	—	82	17.1
⑥60 歳以上 多世代世帯	60歳代、70 歳以上	多世代世帯	(全て対象)	69	14.4
⑦60 歳以上 その他	60歳代、70 歳以上	上記④～⑥以外		7	1.5

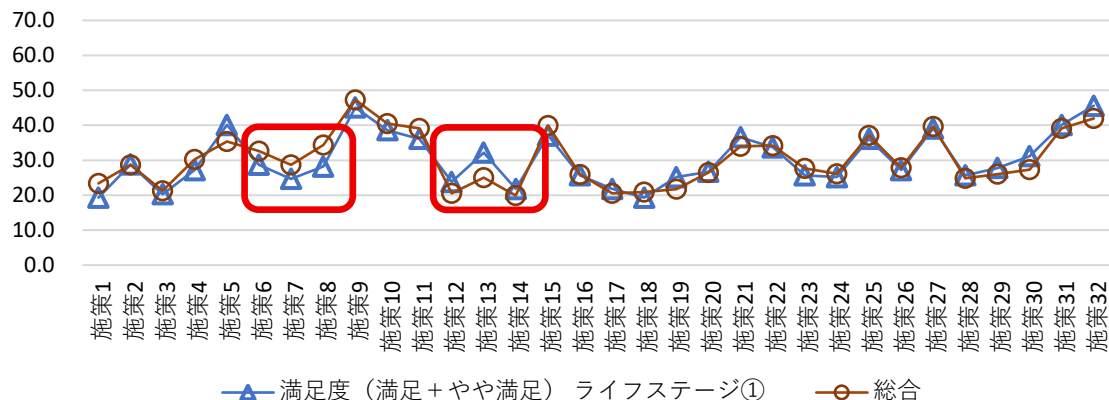
注) 年齢、家族構成について、無回答のものを除いて集計

n = 479

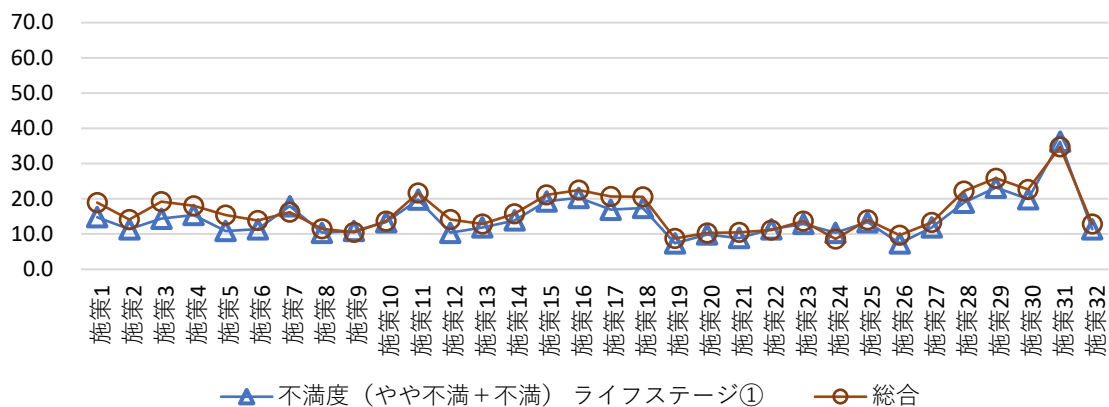
ライフステージ① 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯

－ 行政サービスのデジタル化と子育て・福祉・健康の満足度が低い －

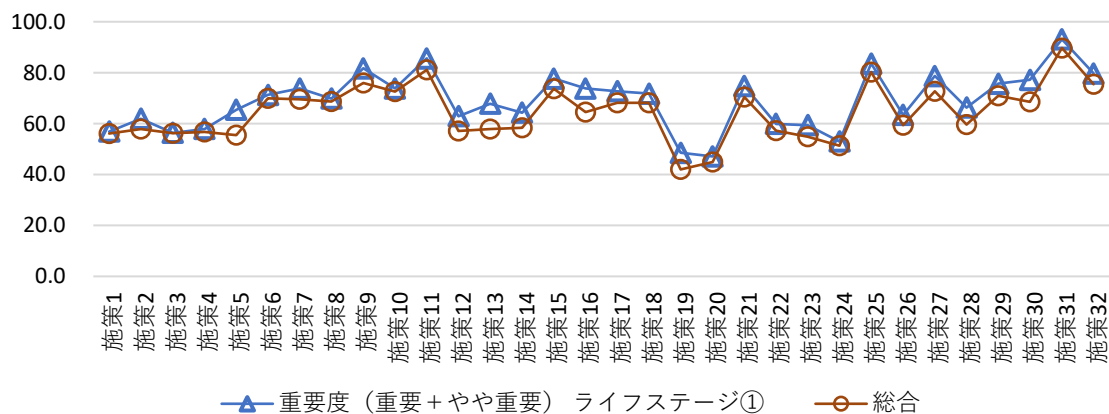
< 満足度 >



< 不満度 >



< 重要度 >



ライフステージ① 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいない世帯

<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

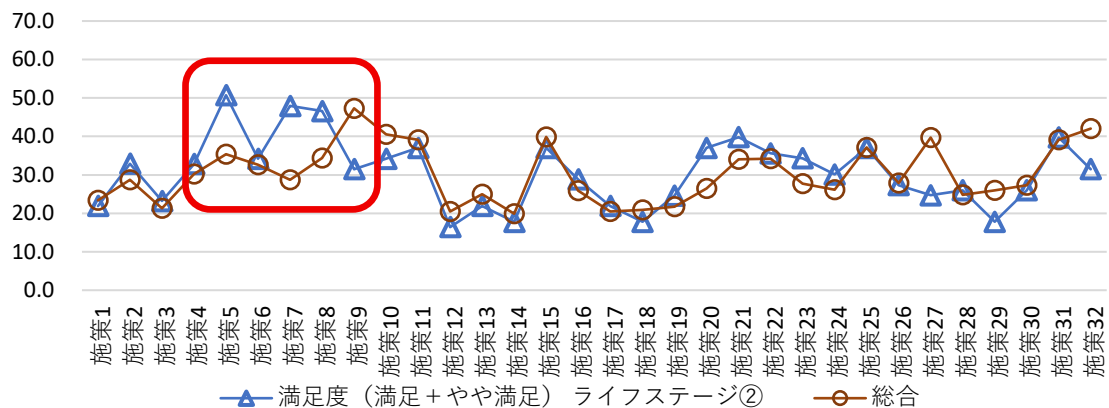
	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	5	行政サービスのデジタル化
		6	生活に困難を抱える方等の自立支援
		7	結婚、妊娠、子育て支援
	高い	13	付加価値の高いものづくり

- 満足度については、他のライフステージと比較して、NO.5「行政サービスのデジタル化」、NO.6「生活に困難を抱える方等の自立支援」、NO.7「結婚、妊娠、子育て支援」が低く、NO.13「付加価値の高いものづくり」が高い。
- 不満度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。
- 重要度については、他のライフステージと比較し大きな差異なし。

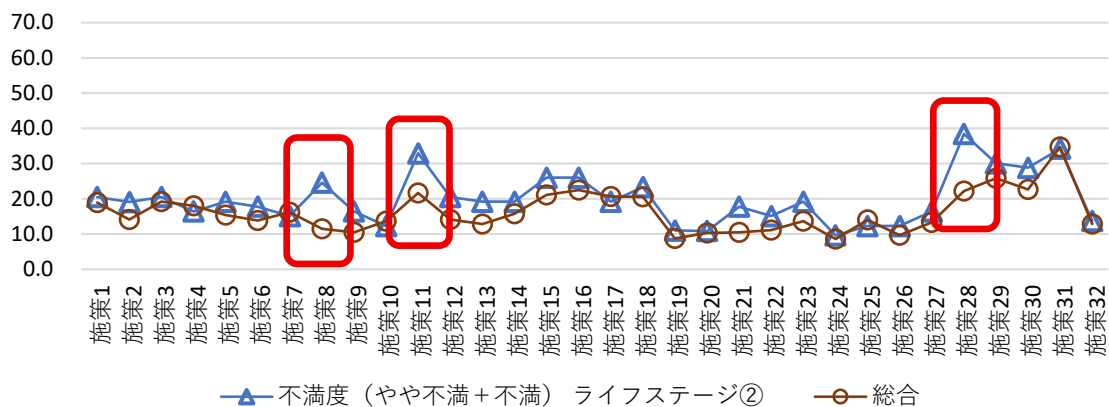
ライフステージ② 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯

－ 行政サービスのデジタル化と子育て・福祉・健康の満足度の満足度が高い －

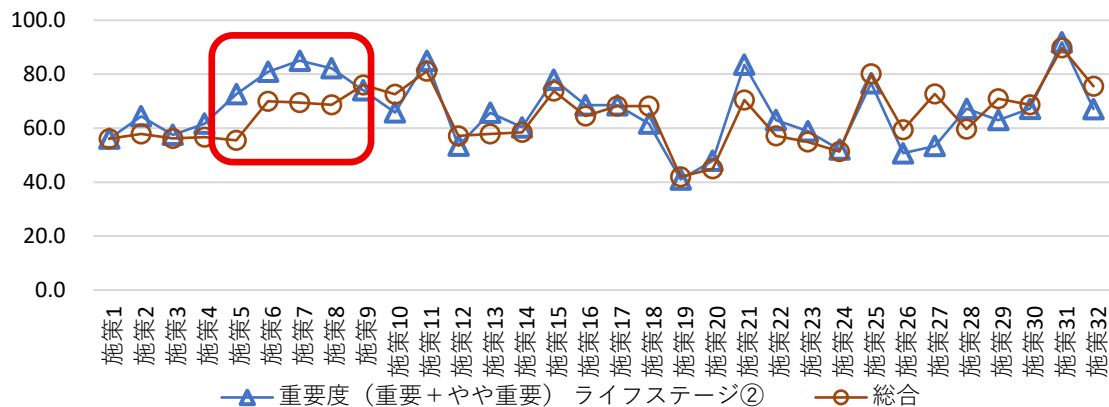
< 満足度 >



< 不満度 >



< 重要度 >



ライフステージ② 10～50 歳代 15歳未満の子どもがいる世帯

<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

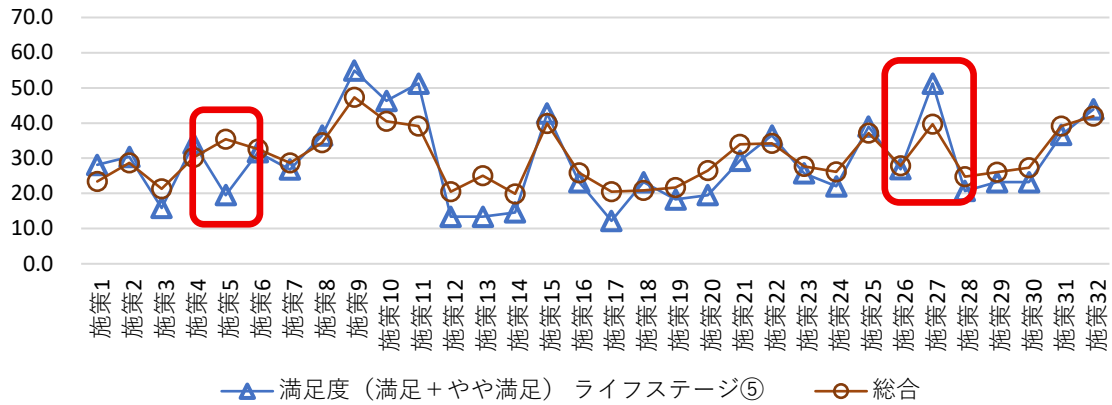
	評価	施策No.	施策名
満足度	高い	5	行政サービスのデジタル化
		7	結婚、妊娠、子育て支援
		8	保育・幼児教育の充実
	低い	9	健康を保つ活動の充実
不満度	高い	8	保育・幼児教育の充実
		11	地域医療体制の確立
		28	計画的な土地利用
重要度	高い	5	行政サービスの デジタル化
		6	生活に困難を抱える方等の自立支援
		7	結婚、妊娠、子育て支援
		8	保育・幼児教育の充実

- 満足度については、他のライフステージと比較して、NO.5「行政サービスのデジタル化」、NO.7「結婚、妊娠、子育て支援」、NO.8「保育・幼児教育の充実」が高く、NO.9の「健康を保つ活動の充実」が低い。
- 不満度については、他のライフステージと比較して、NO.8「保育・幼児教育の充実」、NO.11「地域医療体制の確立」、NO.28「計画的な土地利用」が低い。
- 重要度については、他のライフステージと比較して、施策NO.7などの「子育て・福祉・健康」関係の施策が高い。

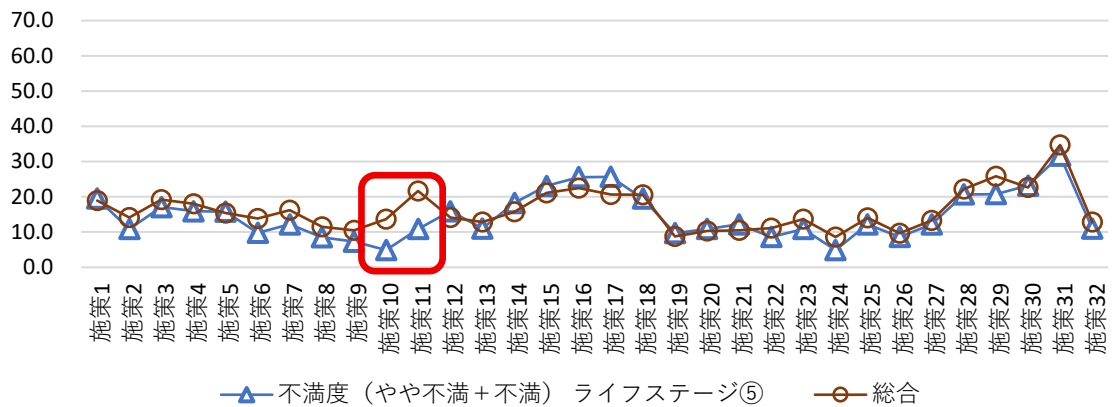
ライフステージ⑤ 60 歳以上 夫婦のみ世帯

－ 行政のデジタル化の満足度が低い －

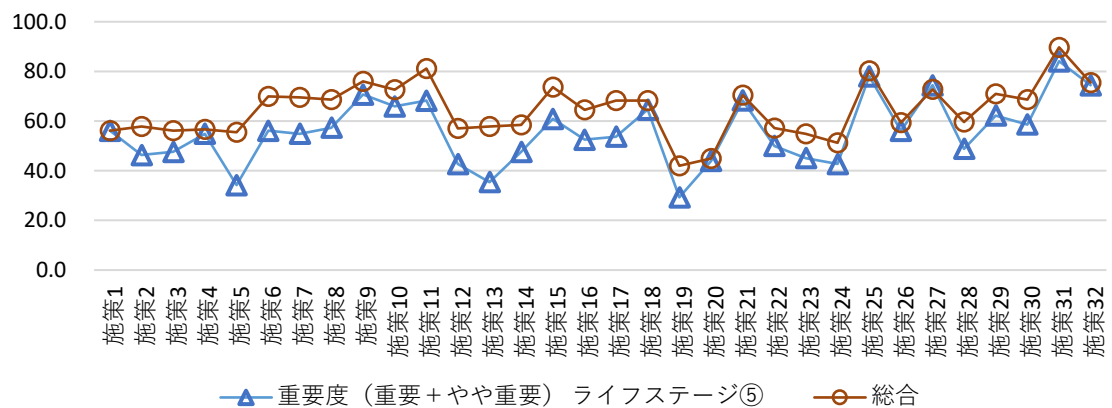
< 満足度 >



< 不満度 >



< 重要度 >



ライフステージ⑤ 60 歳以上 夫婦のみ世帯

<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

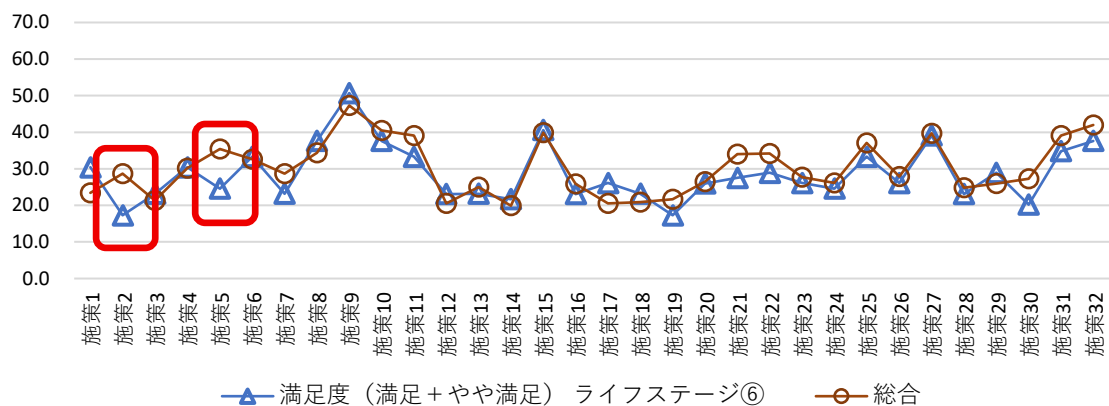
	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	5	行政サービスのデジタル化
	高い	27	安心な生活環境の構築
不満度	低い	10	充実した長寿生活の実現
		11	地域医療体制の確立

- 満足度については、他のライフステージと比較して、NO.5「行政サービスのデジタル化」が低い。一方で、NO.27「安心な生活環境の構築」は他のライフステージより満足度が高くなっている。
- 不満度については、他のライフステージと比較して、NO.10「充実した長寿生活の実現」、NO.11「地域医療体制の確立」が低い。
- 重要度については、全体的に他のライフステージより低くなっている。

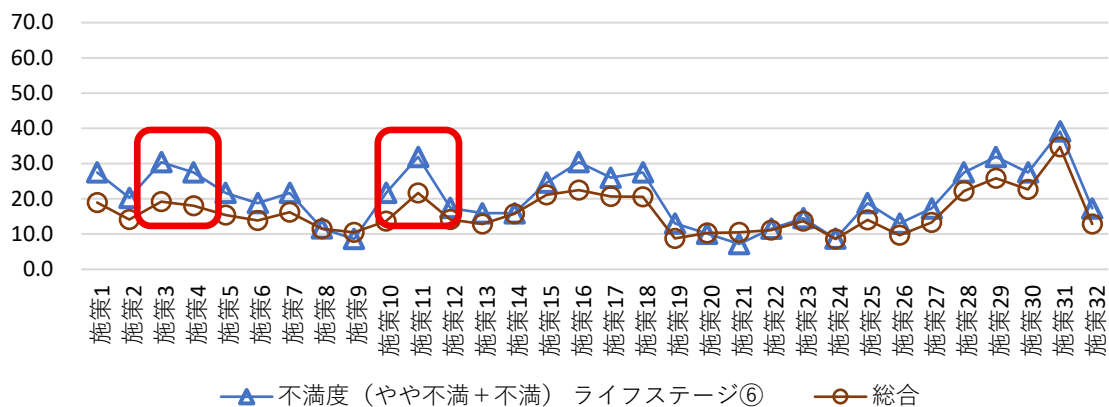
ライフステージ⑥ 60 歳以上 多世代世帯

－ 誰もが活躍できるまちづくりと行政サービスのデジタル化の満足度が低い －

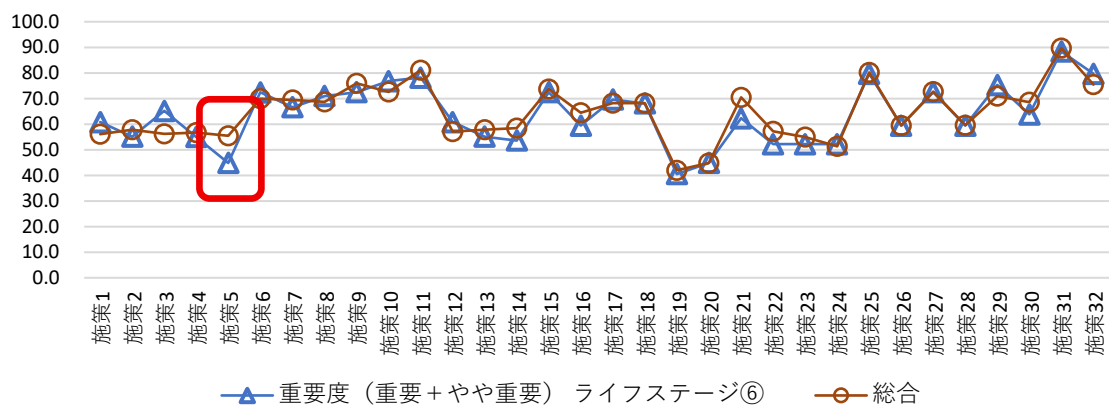
< 満足度 >



< 不満度 >



< 重要度 >



ライフステージ⑥ 60 歳以上 多世代世帯

<他のライフステージと比較して差異が認められる取り組み>

	評価	施策No.	施策名
満足度	低い	2	誰もが活躍できるまちづくり
		5	行政サービスのデジタル化
不満度	高い	3	応援してくれる力の発掘
		4	情報発信力の強化
		11	地域医療体制の確立
重要度	低い	5	行政サービスのデジタル化

- 満足度については、他のライフステージと比較して、NO.2の「誰もが活躍できるまちづくり」とNO.5の「行政サービスのデジタル化」が低くなっている。
- 不満度については、他のライフステージと比較して、NO.3「応援してくれる力の発掘」、NO.4の「情報発信力の強化」、NO.11「地域医療体制の確立」が高くなっている。
- 重要度については、他のライフステージと比較して、NO.5の「行政サービスのデジタル化」が低くなっている。

(2-2) 性別・年代・地域別の満足度順位

※「満足」又は「やや満足」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		健康を保つ活動の充実 47.3%	社会インフラの充実 42.0%	充実した長寿生活の実現 40.5%	にぎわいの創出 39.9%	安心な生活環境の構築 39.7%
性別	男性	健康を保つ活動の充実 43.9%	社会インフラの充実 43.9%	安心な生活環境の構築 40.3%	雪国の安心な暮らし対策の充実 39.4%	充実した長寿生活の実現 39.3%
	女性	健康を保つ活動の充実 51.6%	防災危機対策の推進 43.7%	地域医療体制の確立 43.3%	充実した長寿生活の実現 42.9%	にぎわいの創出 42.1%
年代	10歳代	にぎわいの創出 43.4%	学校教育の充実 40.0%	誰もが活躍できるまちづくり 36.7%	生涯学習の推進 36.6%	社会インフラの充実 36.6%
	20歳代	雪国の安心な暮らし対策の充実 57.7%	社会インフラの充実 55.5%	安心な生活環境の構築 55.5%	防災危機対策の推進 53.4%	生涯学習の推進 53.3%
	30歳代	行政サービスのデジタル化 56.3%	結婚、妊娠、子育て支援 45.4%	社会インフラの充実 45.3%	にぎわいの創出 43.8%	保育・幼児教育の充実 43.7%
	40歳代	雪国の安心な暮らし対策の充実 40.0%	学校教育の充実 40.0%	行政サービスのデジタル化 38.4%	健康を保つ活動の充実 37.0%	保育・幼児教育の充実 36.9%
	50歳代	健康を保つ活動の充実 48.9%	社会インフラの充実 46.6%	充実した長寿生活の実現 42.0%	行政サービスのデジタル化 38.6%	地域医療体制の確立 37.5%
	60歳代	健康を保つ活動の充実 46.4%	安心な生活環境の構築 41.5%	社会インフラの充実 41.4%	雪国の安心な暮らし対策の充実 39.4%	充実した長寿生活の実現 36.4%
	70歳以上	健康を保つ活動の充実 65.0%	地域医療体制の確立 56.7%	充実した長寿生活の実現 52.6%	安心な生活環境の構築 51.5%	にぎわいの創出 50.6%
地域	湯沢地域	健康を保つ活動の充実 49.0%	社会インフラの充実 45.4%	充実した長寿生活の実現 41.2%	安心な生活環境の構築 40.9%	地域医療体制の確立 39.9%
	稲川地域	にぎわいの創出 45.1%	健康を保つ活動の充実 44.1%	充実した長寿生活の実現 40.2%	地域医療体制の確立 38.3%	社会インフラの充実 37.2%
	雄勝地域	にぎわいの創出 48.3%	健康を保つ活動の充実 48.3%	雪国の安心な暮らし対策の充実 41.4%	充実した長寿生活の実現 41.4%	安心な生活環境の構築 41.4%
	皆瀬地域	地域医療体制の確立 50.0%	健康を保つ活動の充実 43.8%	雪国の安心な暮らし対策の充実 43.8%	安心な生活環境の構築 43.8%	情報発信力の強化 43.8%

施策NO.	施策名	該当数
9	健康を保つ活動の充実	11
10	充実した長寿生活の実現	9
32	社会インフラの充実	9
27	安心な生活環境の構築	8
15	にぎわいの創出	7
11	地域医療体制の確立	6
31	雪国の安心な暮らし対策の充実	6
5	行政サービスのデジタル化	3
8	保育・幼児教育の充実	2
21	学校教育の充実	2
22	生涯学習の推進	2

(2-3) 性別・年代・地域別の重要度順位

※「重要」又は「やや重要」と回答した施策について、属性ごとに順位付けしたものです。

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体		雪国の安心な暮らし対策の充実 89.7%	地域医療体制の確立 81.1%	防災危機対策の推進 80.2%	健康を保つ活動の充実 76.0%	社会インフラの充実 75.5%
性別	男性	雪国の安心な暮らし対策の充実 89.6%	地域医療体制の確立 78.7%	防災危機対策の推進 77.4%	社会インフラの充実 75.5%	健康を保つ活動の充実 72.4%
	女性	雪国の安心な暮らし対策の充実 90.1%	地域医療体制の確立 83.8%	防災危機対策の推進 83.5%	健康を保つ活動の充実 79.5%	充実した長寿生活の実現 77.2%
年代	10歳代	防災危機対策の推進 83.4%	雪国の安心な暮らし対策の充実 83.3%	にぎわいの創出 80.0%	生活に困難を抱える方等の自立支援 80.0%	学校教育の充実 76.6%
	20歳代	雪国の安心な暮らし対策の充実 95.5%	にぎわいの創出 91.1%	地域医療体制の確立 88.8%	防災危機対策の推進 86.7%	安心な生活環境の構築 86.6%
	30歳代	結婚、妊娠、子育て支援 89.1%	雪国の安心な暮らし対策の充実 89.0%	保育・幼児教育の充実 85.9%	防災危機対策の推進 84.3%	学校教育の充実 84.3%
	40歳代	雪国の安心な暮らし対策の充実 92.3%	結婚、妊娠、子育て支援 83.1%	地域医療体制の確立 83.1%	学校教育の充実 76.9%	健康を保つ活動の充実 75.4%
	50歳代	雪国の安心な暮らし対策の充実 95.4%	地域医療体制の確立 89.8%	健康を保つ活動の充実 85.2%	充実した長寿生活の実現 83.0%	社会インフラの充実 81.9%
	60歳代	雪国の安心な暮らし対策の充実 93.0%	防災危機対策の推進 80.8%	社会インフラの充実 78.8%	地域医療体制の確立 77.8%	充実した長寿生活の実現 74.7%
	70歳以上	雪国の安心な暮らし対策の充実 79.4%	防災危機対策の推進 75.3%	地域医療体制の確立 73.2%	充実した長寿生活の実現 72.1%	安心な生活環境の構築 72.1%
地域	湯沢地域	雪国の安心な暮らし対策の充実 91.9%	防災危機対策の推進 84.6%	地域医療体制の確立 82.7%	健康を保つ活動の充実 78.5%	社会インフラの充実 78.5%
	稲川地域	雪国の安心な暮らし対策の充実 88.3%	充実した長寿生活の実現 77.5%	地域医療体制の確立 77.4%	健康を保つ活動の充実 74.5%	にぎわいの創出 74.5%
	雄勝地域	雪国の安心な暮らし対策の充実 84.5%	地域医療体制の確立 81.0%	にぎわいの創出 81.0%	道路等の整備 79.3%	健康を保つ活動の充実 74.2%
	皆瀬地域	雪国の安心な暮らし対策の充実 81.3%	地域医療体制の確立 81.3%	防災危機対策の推進 68.8%	就労機会の拡充と創業支援 68.8%	安心な生活環境の構築 68.8%

施策NO.	施策名	該当数
31	雪国の安心な暮らし対策の充実	14
11	地域医療体制の確立	12
25	防災危機対策の推進	10
9	健康を保つ活動の充実	8
10	充実した長寿生活の実現	5
32	社会インフラの充実	5
15	にぎわいの創出	4
27	安心な生活環境の構築	3
21	学校教育の充実	3
7	結婚、妊娠、子育て支援	2

3. 設問間の相関関係

■ 相関関係とは

年齢と収入のように、1つのデータの変化に伴って、もう1つのデータも変化するような関係を相関関係といい、1つのデータが増えるとき、もう1つのデータも増えるような関係を正の相関関係といいます。

■ 設問間の相関関係

本調査の施策に関する設問 1 から 3 2 のうち、「住みやすさ」、「愛着や誇り」、「住みつづけたい」に関する設問との相関関係を把握するため、相関係数（係数は -1 から $+1$ の間の値をとり、その値が 1 に近いほど正の相関関係が強いことを示す。）を算出して、その結果を次ページ以降に示しました。

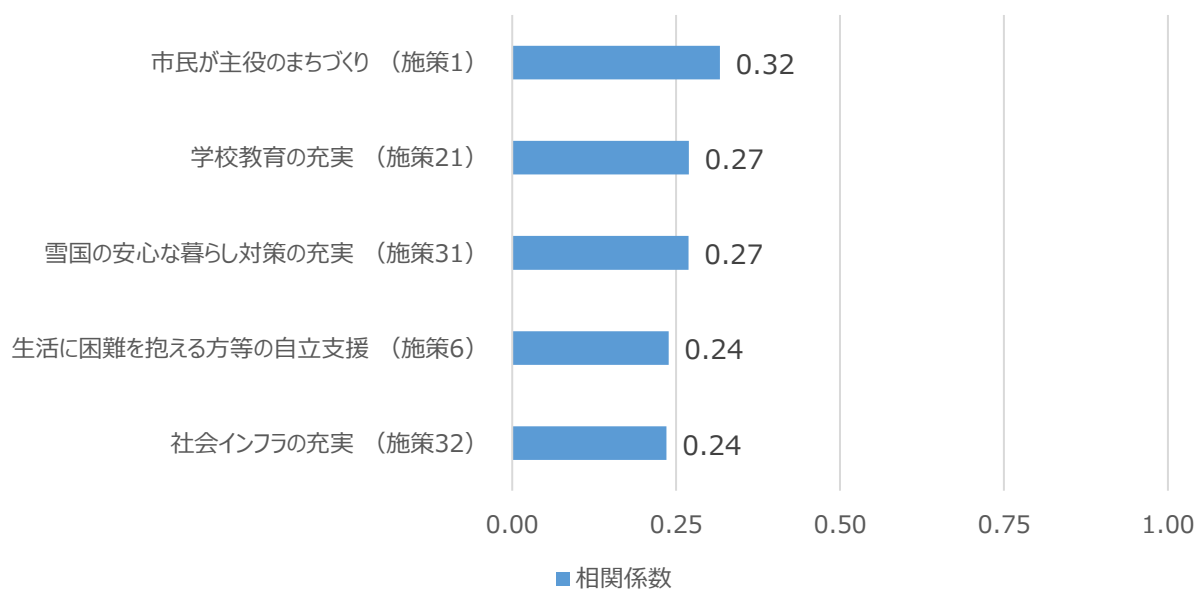
施策NO.	施策名
7	結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実
17	全ての産業における次世代を担う人材の確保・育成
18	就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援
29	公共交通の整備と利用促進
30	まちの動脈となる道路等の整備
31	雪国の安心な暮らし対策の充実

<注意事項>

相関係数はいくつかの方法により算出することができますが、ここでは、通常用いられるピアソンの相関係数により算出しています。設問における選択肢は順位尺度となりますが、その値の差が等しい間隔尺度として仮定した上で、相関係数を算出しています。

(3-1) 問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」との相関関係

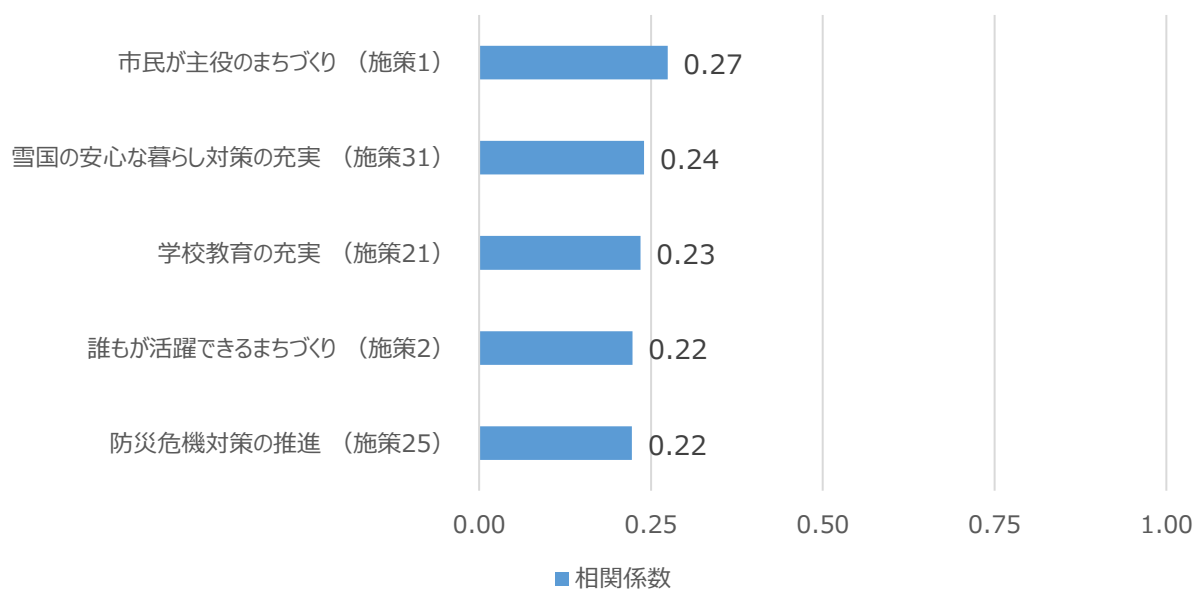
問8「湯沢市を住みやすいまちだと思いますか」と各設問（施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「市民が主役のまちづくり」の0.32となり、次いで「学校教育の充実」、「雪国の安心な暮らし対策の充実」の0.27、「生活に困難を抱える方等の自立支援」と「社会インフラの充実」の0.24となった。

（３－２）問 9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」との相関関係

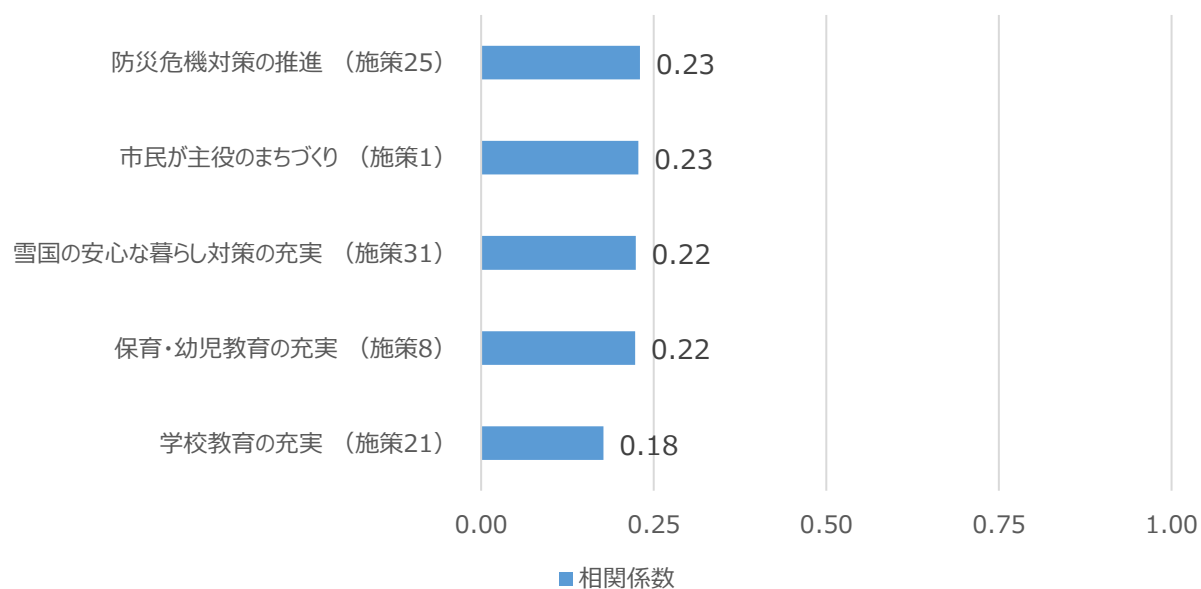
問 9「湯沢市に愛着や誇りを持っていますか」と各設問（施策 1 ～ 32）との相関係数を算出した結果、上位 5 項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「市民が主役のまちづくり」の0.27となり、次いで、「雪国の安心な暮らし対策の充実」の0.24、「学校教育の充実」の0.23、「誰もが活躍できるまちづくりの推進」と「防災危機対策の推進」の0.22となった。

（３－３）問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」との相関関係

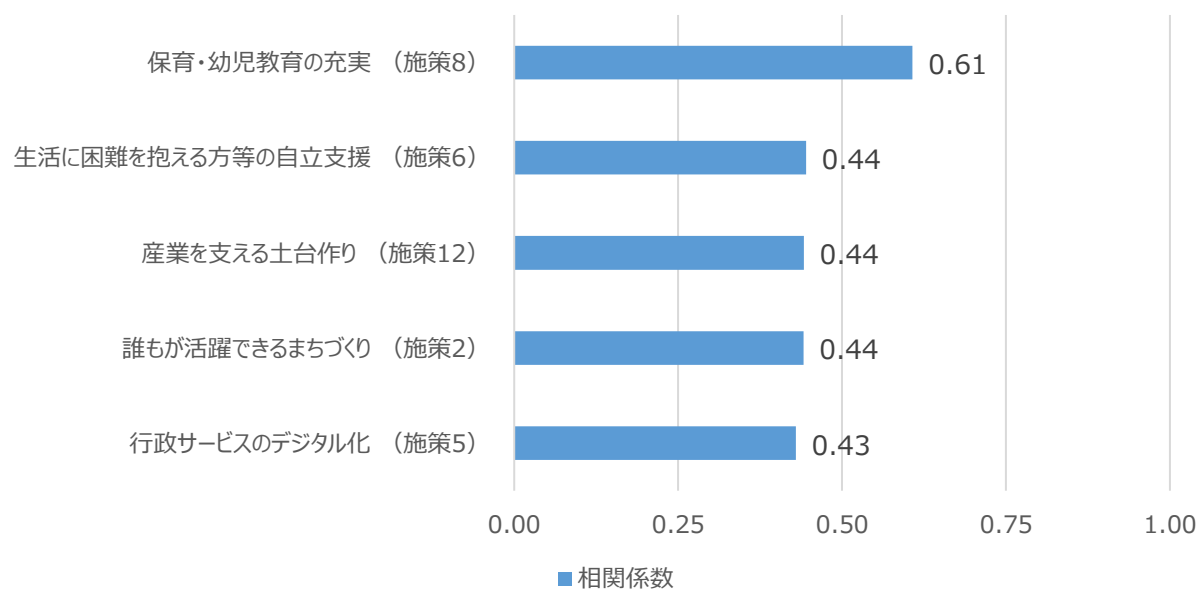
問10「今後も湯沢市に住み続けたいと思いますか」と各設問（施策 1 ～32）との相関係数を算出した結果、上位 5 項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「防災危機対策の推進」と「市民が主役のまちづくり」の0.23となり、次いで「雪国の安心な暮らし対策の充実」と「保育・幼児教育の充実」の0.22、「学校教育の充実」の0.18となった。
- 「防災・生活」と「市民活動・情報発信」に関する施策との相関関係が強い。

（３－４）施策７「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」との相関関係

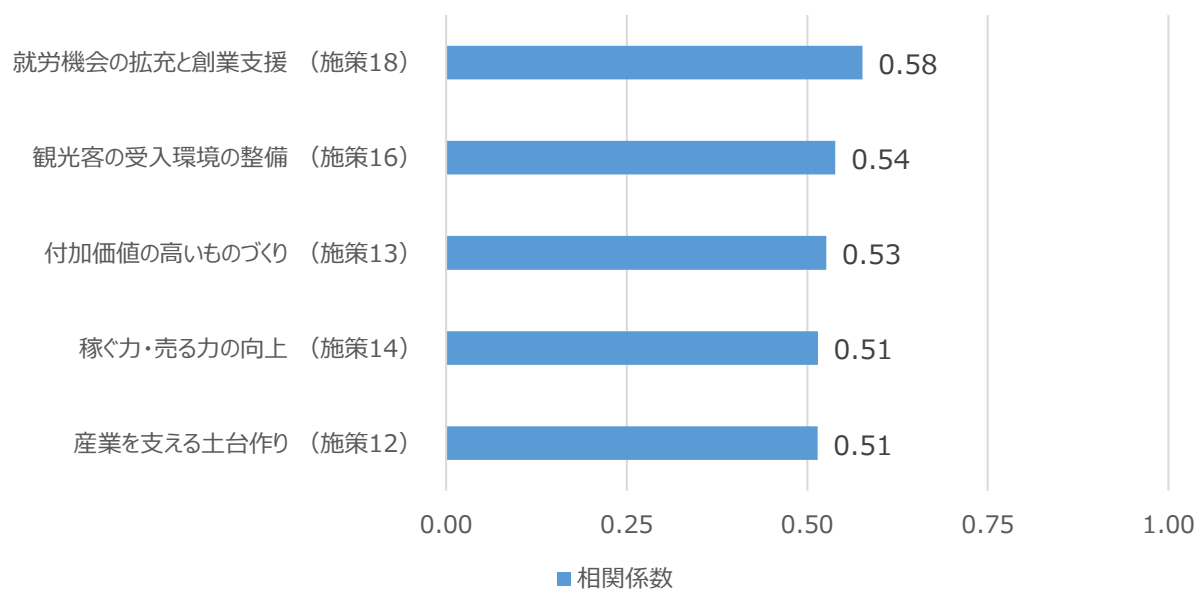
施策７「結婚から妊娠・子育てまでの支援の充実」と各設問（問８、９、１０、施策１～３２）との相関係数を算出した結果、上位５項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「保育・幼児教育の充実」の0.61となり、次いで「生活に困難を抱える方等の自立支援」、「産業を支える土台作り」、「誰もが活躍できるまちづくり」の0.44、「行政サービスのデジタル化」の0.43となった。

（３－５）施策17「すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成」との相関関係

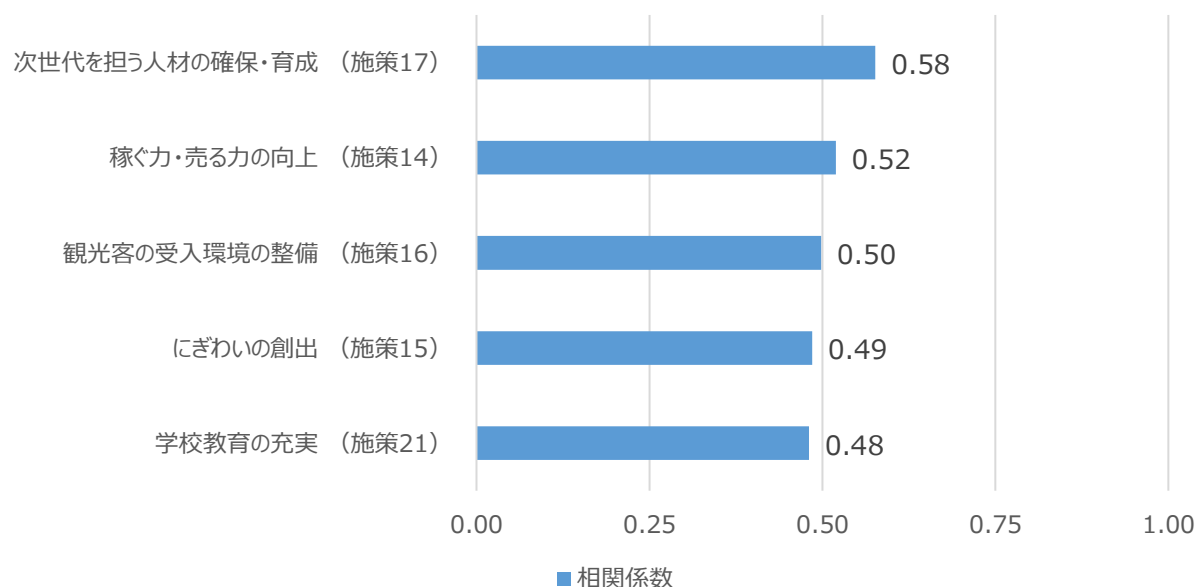
施策17「すべての産業における次世代を担う人材の確保・育成」と各設問（問 8、9、10、施策 1 ～ 32）との相関係数を算出した結果、上位 5 項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「就労機会の拡充と創業支援」の0.58となり、次いで、「観光客の受入環境の整備」の0.54、「付加価値の高いものづくり」の0.53、「稼ぐ力・売る力の向上」、「産業を支える土台作り」の0.51となった。

（３－６）施策18「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」との相関関係

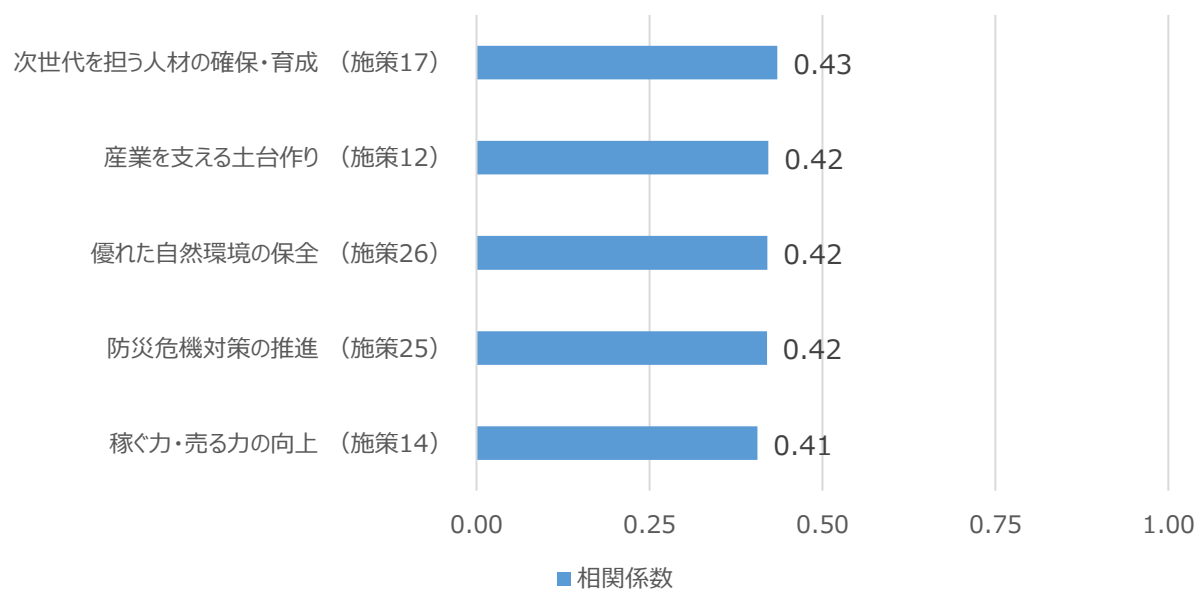
施策18「就労機会の拡充と革新的な起業・創業の支援」と各設問（問8、9、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「次世代を担う人材の確保・育成」の0.58となり、次いで、「稼ぐ力・売る力の向上」の0.52、「観光客の受入環境の整備」の0.50、「にぎわいの創出」の0.49、「学校教育の充実」の0.48となった。
- 「産業・観光・雇用」に関する施策との相関関係が強い。

(3-7) 施策29「公共交通の整備と利用促進」との相関関係

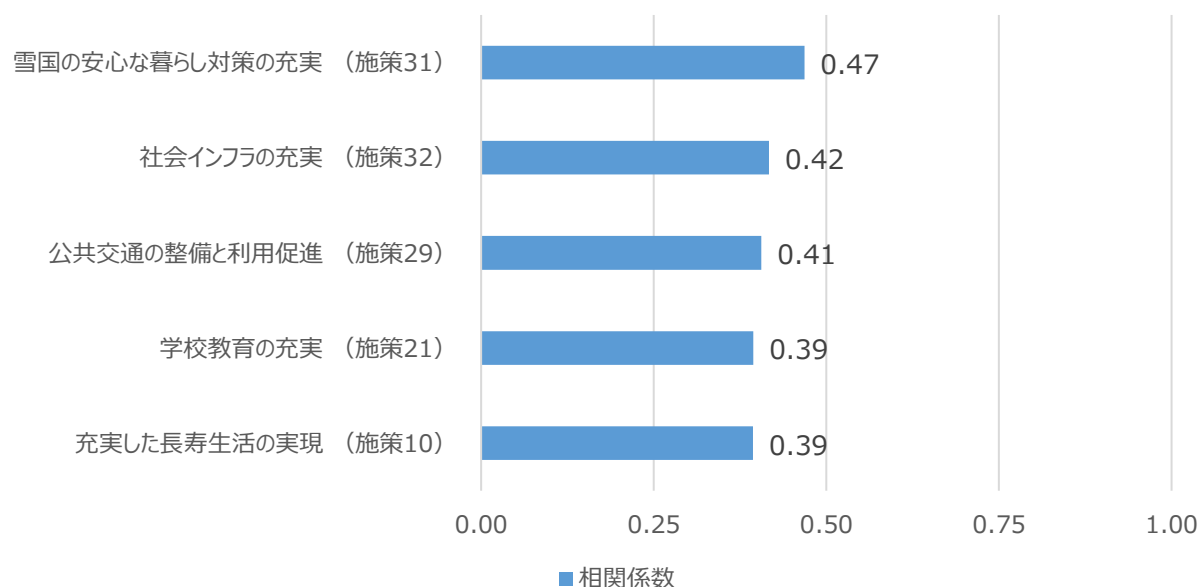
施策29「公共交通の整備と利用促進」と各設問（問8、9、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「次世代を担う人材の確保・育成」の0.43となり、次いで「産業を支える土台作り」、「優れた自然環境の保全」、「防災危機対策の推進」の0.42、「稼ぐ力・売る力の向上」の0.41となった。

(3-8) 施策30「まちの動脈となる道路等の整備」との相関関係

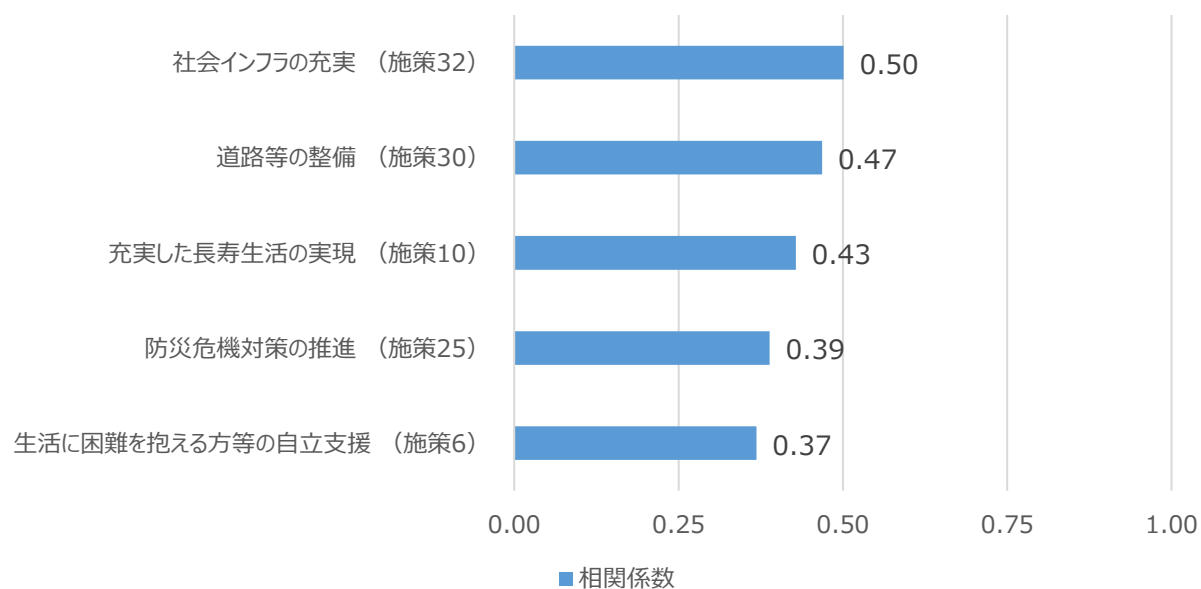
施策30「まちの動脈となる道路等の整備」と各設問（問8、9、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「雪国の安心な暮らし対策の充実」の0.47となり、次いで「社会インフラの充実」の0.42、「公共交通の整備と利用促進」の0.41、「学校教育の充実」と「充実した長寿生活の実現」の0.39となった。
- 「防災・生活」に関する施策との相関関係が強い。

(3-9) 施策31「雪国の安心な暮らし対策の充実」との相関関係

施策31「雪国の安心な暮らし対策の充実」と各設問（問8、9、10、施策1～32）との相関係数を算出した結果、上位5項目は以下のとおりとなった。



- 相関係数の一番高いものは「社会インフラの充実」の0.50となり、次いで「道路等の整備」の0.47、「充実した長寿生活の実現」の0.43、「防災危機対策の推進」の0.39、「生活に困難を抱える方等の自立支援」の0.37となった。

4. 自由意見

市民アンケートの自由意見を、記載内容ごとに大きく以下の6項目に分類し、そのうち代表的な意見を記載しています。

<自由意見の記載内容>

分類
(1) 市民活動・情報発信に関わる意見
(2) 子育て・福祉・健康に関わる意見
(3) 産業・観光・雇用に関わる意見
(4) 文化・教育・スポーツに関わる意見
(5) 防災・生活に関わる意見
(6) 行政全般に関わる意見

(1) 市民活動・情報発信に関わる意見

- ・SNSを使った情報発信について、市役所、消防、警察、地元企業など様々な業種が連携して行えばいい。
- ・X（旧twitter）での情報の拡散が少ない。イベントなどの情報拡散を積極的に行ってほしい。
- ・医療施設について、インターネット上に情報が少ない施設もあるため、市などで情報を集約したサイトがあればいいと思う。
- ・湯沢市施設予約サイトで施設の予約や支払いが出来るようになって大変便利になりました。
- ・デジタル化が進むことは良いことですが、老人の一人暮らしの方達のこととも考慮し、その人達が取り残されることのないようにケアしてください。誰もが住みよい湯沢になることを祈ります。

(2) 子育て・福祉・健康に関わる意見

- ・子育てや結婚ばかりに重点が行くと福祉や老人の1人暮らしなどが捨てられていくような気がします。
- ・結婚サポートを手厚く行ってほしい。
- ・子どもを産み育てたいと思える環境作りに力を入れていただきたい。人口減少を防ぐ為にどうしたらいいか市民と共に考えを出してほしい。
- ・近年、目に見えない病気や障がいをもっている方々が増えていると感じています。
- ・湯沢市のこれからの医療が心配である。医者はいるのだろうか…。早めに考えて欲しい。健康があつての幸せです。

(3) 産業・観光・雇用に関わる意見

- ・犬っこ祭りのとき総合体育館を飲食スペースとして開放してほしい。食べる場所がなくて本当に困る。
- ・駅周辺やIC付近に宿泊施設が少ないので、湯沢にきた人たちが横手等で宿泊し、その地域の飲食店を利用するのは、せっかくのチャンスを逃している気がする。
- ・全国チェーンの店がもっと湯沢市に増えてほしい。スーパーは揃っていていいが、暮らしを豊かにするという観点だと湯沢市だけでは完結できない。
- ・湯沢市にも企業誘致活動の推進を。求人を見ても少ないので転職も難しい。
- ・大規模化、効率化だけでは成り立たない。湯沢独自の農政があってもいいと思う。
- ・若い人たちが働ける場所が少ないと思うので、県外に出ていかなくていいような、働ける場所が多くあるといいなと思います。

(4) 文化・教育・スポーツに関わる意見
・湯沢市は高校も少なくて選択肢がない。
・人口減少には逆らえないので、近隣市町村と協力しあいながらやっていくといいのではないのでしょうか。
・市民が集う祭り事をもっと派手、若者向けにして活性化したらどうでしょうか。
・新しく駅前にできる図書館の中にでも、佐竹南家の古い資料や、湯沢の歴史がわかる資料など、そこにいけば誰でも見ることができ、学べる資料展示があるとうれしい。

(5) 防災・生活に関わる意見
・高齢化が進んでいるので、乗合タクシーやバスの来る頻度を増やして欲しいとは思っています。
・高校進学になるとバス通学予定ですが、バスもなくならないか不安です。
・高齢になった時の除雪のことを考えると今後この地で住んでいけるか非常に心配である。
・空き家のいたみのひどいものは解体してほしい。
・防災無線を家の中で聞くと、何を言っているのかわかりません。普通の話し声と、スピーカーを通した声は聞こえ方が違うという事を考慮してアナウンサーを選んで下さい。
・免許を返すとどこへも行けないと80才を過ぎても車に乗らなければならなくなっています。ここを何とかしてほしいとも思っています。

(6) 行政全般に関わる意見
・できるだけ細やかな住民ニーズを把握し対応しつつも、現状の課題に即した優先順位をつけた政策の実施をお願いします。
・湯沢市だけではどうにもならないことがあると思うので、近隣の市町村との共存を考え行動することを願います。
・県外に出て行ってしまった人たちが帰って来られるような政策もお願いします。(帰って来ても変わらないくらいの収入があることと、やりたい仕事があること)
・若者が湯沢に住みたいと思うような町作りを今よりもっとするべきだと思います。
・閉鎖的な文化や人間性。古い文化を大事にすることはいいことだと思うが、新しいことも取り入れないと前進できないと思います。
・国のガイドラインに従って事業を行い、補助金を引っ張ってくるべき。
・全ての性別、年代に対して、バランスのとれた施策を推進してもらいたい。